

山形県広域防災拠点整備方針検討業務委託 提案評価項目及び審査基準

評価項目			審査の視点	配点 a	係数 b	得点 a × b
業務遂行能力	1	業務理解度・業務実施方針	本業務の目的、仕様書の内容や本県の実情を十分に理解し、その理解に基づいた的確かつ実効性のある業務実施方針が示されているか。	5	1	5
	2	業務実施体制	本業務を円滑かつ効果的に実施するために必要な人員及び専門的知見を有する技術者が適切に配置されているとともに、総括責任者及び主任者の実績・専門性を含め、業務を確実に遂行できる実施体制が構築されているか。	5	2	10
	3	業務工程	業務工程が具体的かつ合理的であり、各業務を履行期間内に確実に実施できる工程が示されているか。	5	1	5
	4	関係機関との調整能力	政府機関、他都道府県、市町村、防災関係機関、物流関係者、空港関係者等の多様な関係機関と円滑に調整を行うための体制、方法、実績及びノウハウ等を有しているか。	5	1	5
	5	類似事業実績	国又は地方公共団体が発注した広域防災拠点、空港を活用した防災拠点、施設整備計画、PPP／PFI等、本業務と類似する業務の実績を有し、その実績や知見を本業務に活用することが期待できるか。	5	1	5
小計						30
提案の有効性	6	基礎調査・現状分析手法	本県の現状及び課題を的確に把握・整理するため、必要な資料収集、関係機関ヒアリング及び調査・分析を効果的に実施する手法が具体的に示されているか。	5	2	10
	7	整備方針検討手法	広域防災拠点の役割及び機能を踏まえ、必要な施設機能・施設構成、平常時の利活用、管理運営及び県内被災地における広域防災拠点との連携を含め、整備方針案を検討するための手法が具体的かつ効果的に示されているか。	5	4	20
	8	施設計画・整備手法・事業費算定手法	必要な施設の規模、配置及びゾーニング、人流及び物流動線、航空運用を踏まえた活動空間等を適切に検討するとともに、「新設型」、「既存施設活用型」及び「これらを組み合わせた手法」の比較評価並びに事業費を検討・算定するための手法が具体的かつ合理的に示されているか。	5	4	20
	9	PPP／PFI検討手法	PPP／PFI事業手法の導入可能性、適用範囲、課題及び対応策を検討するための手法が具体的かつ実現性をもって示されているか。	5	2	10
小計						60
独自性・経済性	10	独自提案	仕様書に定める事項のほか、本県の広域防災拠点整備に資する独自の視点、創意工夫又は付加価値の高い提案が示されているか。	5	1	5
	11	経費見積	見積金額は、提案内容に対して適正かつ妥当なものとなっており、経費の積算根拠が明確で示されているか。	5	1	5
小計						10
総 計						100

※得点について

項目ごとの5段階評価に、評価の比重(係数)を乗じたものを配点とする。

評価・・・非常に優れている:5点、優れている:4点、普通:3点、やや劣っている:2点、劣っている:1点